



伊賀市立壬生野小学校
 2023年4月6日
 発行責任者 藪中 俊典

今年は、春の訪れが早く、桜の開花も例年に比べ1週間ほど早かったため、入学式の日には咲いていないのではないかと心配していましたが、子どもたちの新しいスタートを待っていてくれたようで、桜の花のもと、新しい1年がスタートしました。

令和5年度は、22人の1年生を迎え、全校162人でのスタートとなります。新型コロナウイルスの感染の拡大は、落ち着きは見られるものの、まだ安心できる状況にあるとは言えません。そのため、これまで同様に、「密を避ける」「こまめな手洗いと手指の消毒をする」「換気をする」といった感染症対策は講じますが、マスクの着用は必要なくなるなど、教育活動を行う上での制限は、この4月から、かなり緩和されました。そのため、今年は、この3年間、実施が難しかったことも、形を新たに、行っていきたくと思っています。

教職員一同、162人の子どもたちの成長を、保護者の方とともに分かち合いながら、学びを支援していきますので、学校運営にご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

「熱中できるものを見つけられれば・・・」(イチロー選手の引退会見から)



去年の始業式には、麒麟の研究をされている郡司 久さんの言葉を紹介しましたが、今年の始業式では、大リーグで活躍をされたプロ野球選手のイチローさんが、引退会見で話された言葉を紹介しました。

「熱中できるものを見つけられれば、それに向かってエネルギーを注げる。それを早く見つけてほしい。見つければ、立ち足る壁に向かっていける。いろんなことにトライして、好きなものを見つけたい。」

この言葉から、子どもたちには、次の2つのことを話しました。

1つは、「熱中できるものを見つけられれば、立ち足る壁に向かっていける。」とされているように、自分が「熱中できる」「夢中になれる」ことを見つけることで、いろんなことに立ち向かっていこうという気持ちももてるようになるということです。今年も、子どもたちには、失敗を恐れないで、いろんなことに挑戦をしてみようとする姿を見せてくれることを期待しています。

2つは、そのためにも、一人一人が、自分が「熱中できる」「夢中になれる」ことを見つけてほしいと思っています。それは、将来の夢でもいいし、「こんなふうになりたい」、あるいは「このことをがんばるぞ」といった目標でも構いません。大事なことは、そうやって見つけた「熱中できる」「夢中になれる」ことを、自分の心の中だけにしまっておくのではなく、みんなに伝えることで、みんなが応援してくれるようになり、自分も頑張れるということ、私自身の体験を交えて話しました。そして、子どもたちには、友だちの思いを知ったら、その友だちを応援する子になってほしいということも話しました。私たち教職員も、一人一人の子ども「熱中できる」「夢中になれる」ことを応援したいと思っています。

今年度の学校体制

以下の教職員で子どもたちの学びを支援していきます。よろしくお願ひします。



校長	藪中 俊典	きぼう 4	大窪 真理子	教育支援員	大杉 久美子
教頭	澤村 裕子	専科	廣澤 杏里	教育支援員	神村 久仁江
1年	森永 恵奈	専科	中川 幸	教育支援員	池住 美帆
2年	西田 真智子	専科	中野 翔太	教育活動 サポーター	吉岡 幸菜
3年	松浦 恭司	専科	内田 環	スクール・サポート・スタッフ	糸田 やす子
4年	川上 麗	英語指導	辻村 一将	スクール・サポート・スタッフ	居附 里美
5年	間邪 修弘	JTE 外国語活動 指導助手	ジョンソン 珠恵	スクール・サポート・スタッフ	森田 實千世
6年	佐藤 由美子	養護教諭	吉川 知穂	スクール カウンセラー	未定
きぼう 1	真島 公子	初任者指導	井田 敬子	育休	番條 香織
きぼう 2	沢 智美	事務職員	橋本 直紀		
きぼう 3	船見 千鶴	用務員	笹野 美代子		

4月の異動により11名の教員が着任しました。前任者同様、よろしくお願ひします。

間邪 修弘 (三重県子ども福祉部から)	西田 真智子 (ふれあい教室から)
森永 恵奈 (奈良県黒滝小学校から)	真島 公子 (柘植小学校から)
吉川 知穂 (養護教諭 新規採用)	中川 幸 (久米小学校から)
橋本 直紀 (事務職員 西柘植小学校から)	中野 翔太 (上野東小学校から)
井田 敬子 (初任者指導 依那古小学校から)	
ジョンソン 珠恵 (JTE 外国語活動指導助手)	
辻村 一将 (英語指導 霊峰中学校教員)	



今年も、子どもたちの姿や学校での取組の様子などを、少しでもお届けできればと思っていますので、ご家庭での話題としていただくと幸いです。